
あの日の約束

神姫

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

あの日の約束

【Nコード】

N4148G

【作者名】

神姫

【あらすじ】

霧島雅は、中3になったばかりの、運動神経抜群の女の子。2年前、近所に越してきた、豊川優也のことが好き。二人は、お互い好きだったことを知らずに、彼此、彼女ができてしまった。もちろん、好きではなかったのに…。勝手ながら、次話の投稿を遅れさせて頂きます。連載は続けますので、もし、もしですけど楽しみにしてくれていた人がいたら、まことに申し訳ありません。そんなに日はかかりません。本当に申し訳ありません。神姫

遠足

「皆さん、明日は遠足です。かわいらしい1年生が、喜んでくれるように、楽しい日にしましょうね。」

あたしの名前は、霧島雅。中学3年生。

明日は、新しく入学してきた1年生の歓迎遠足だ。遠足はいいけど、ゲームとか考えるのが嫌だ。

「そこでみなさん。何か一つゲームを考えてください。2年生が一つ考えますので一つでいいです。だれか、挙手してください。」

みんなはうーん…。と言うばかり。

「ちなみに、行く場所は海が見える綺麗な公園、海麗公園ですの
」

海麗公園とは、海が見えることと、広くて遊べるものがたくさんある場所だ。

テニスコートもあるし、芝生の場所や子供用の遊び場、その他色々小さい子からお年寄りまで幅広く遊べるいい場所だ。

「簡単に、時間がかからない方が良いですね。」

みんなは考えている。だれも、手を挙げそうにない。
結局、放課後生徒会が決めることになった。

「はあゝ明日は遠足かゝ。ね、雅！」

友達の山田ルイだ。ま、心友と言ってもいいだろう。

「だねゝ。今年の1年はエエ子だとエエなあ。」

「うん、今の2年はやばかったよねゝ。」

「そうそう！万引きとかケンカとか多かったもんね。」

今の2年は評判が悪い。

あたしは、今3年で良かった。

もしあたしが今年入学することになったら、
危ないことになっていたかもしれない。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4148g/>

あの日の約束

2010年10月28日04時52分発行